

2020年10月20日
プレスリリース

即時リリース用

Bafang はドイツの新しい更に広い敷地で成長を続けます

ドイツ子会社の正式名称を「Bafang Electric GmbH」に変更してからも Bafang のドイツ市場におけるサクセスストーリーは続いています。拡大されたタスクの範囲と、計画中の活動、そして新たな人員の追加によって、2020年10月に更に大規模な企業施設への移転が不可欠になりました。

Hövelhof、2020年10月20日：イーモビリティ部品と完全なドライブシステム分野で世界をリードするメーカーである Bafang は、2020年10月中にドイツ支店を新しい拠点であり以前の施設から数kmしか離れていないにもかかわらず著しく広大な面積を持つ Hövelhof（パーダーボルン/ノルトライン・ヴェストファーレン州近く）に移転しました。



Hövelhof の Bafang Electric GmbH の新たな立地；写真：Bafang

これまでは DACH 地域の販売部門と、技術サービス部門、そして倉庫が合計で敷地の床面積の 250m² を占めていました。ですが、この新たな敷地の 650m² を超えるオフィススペースでは、最大 25 名まで収容可能な 100m² のトレーニングルームなどが利用できます。さらに、十分な収納スペース（225m²）と、サービスワークショップおよび新たな試験ラボのための空間が 170m² 用意されています。

特に試験施設の設置は、この蘇州に拠点を置く企業のとりわけドイツ部門にとって、欧州の電動アシスト自転車市場がいかに重要であるかを物語っています：現在、ドイツは最も重要で最も大きな電動アシスト自転車の市場です。そのため、既存および新規の顧客（自転車メーカー）の近くに拠点を構える事は、Bafangにとって市場の発展と新しい電動アシスト自転車技術の出現をつぶさに追いかけ、それらを形成するための機会として非常に重要です。最近、この中国企業は自転車と電動アシスト自転車業界の協会である Zweirad-Industrie-Verband (ZIV) のメンバーとなり、ヨーロッパの電動アシスト自転車業界にとって不可欠な存在になる事に対するコミットメントを示しました。

「私たちは最適に開発された工業団地の近代的な建物で働く事を楽しみにしています。この場所は成長を続ける電動アシスト自転車市場に積極的に参加する上で理想的な立地です。さらに、ここは高速道路からわずか 4 km という便利な場所にあります」と Bafang の広報担当者は述べ、「顧客に近い」という事が今後は Bafang にとってスローガン以上のものになると付け加えました。

メディア連絡先:

キャサリン・MA

メール: katherine.ma@bafang-e.com**Bafang について: www.bafang-e.com**

Bafang は、イーモビリティ部品と完全なイードライブシステムの大手メーカーの一つであり、2003 年から電気車両向けの部品と完全なシステムを開発してきました。Bafang は上海証券取引所 (603489.SS) に上場しています。

同社は、個人の電動アシスト自転や、電動スクーター、または公共自転車共有計画など、未来のグローバルなイーモビリティ動向の全てに焦点を当てています。Bafang は世界中で約 700 名のスタッフを雇用しています。本社と開発/製造センターは上海近郊の蘇州に位置しています。Bafang はオランダと、アメリカ、ドイツ、日本、台湾、中国に販売およびサービスセンターを持っています。ポーランドに新たに開設された工場は、欧州市場向けミッドモーターシステムの生産に注力していきます。

このリリースはバーファン電気（蘇州）股份有限公司 (Bafang Electric (Suzhou) Co., Ltd.) が発行しており、同社がその内容に対する最終責任を有しています。